

令和 5 年度議会運営委員会行政視察報告書

1. 期日: 令和 6 年 1 月 31 日 (水)

2. 視察地と視察項目:

- ・福島県会津若松市議会
- ・視察内容: 予算決算委員会と連動した政策サイクルについて
議会改革全般について

3 視察出席者: 議会運営委員会 (6 名)

委員長	石井 侑男	副委員長	宮本 莊山
委員	森島 武芳	委員	神谷 靖
委員	掛下 法示	委員	高瀬 由子
矢板市議会 (2 名)			
議長	佐貫 薫	副議長	石塚 政行
議会事務局 (3 名)			
局長	星 哲也	主幹	矢板 寿江
副主幹	薄井 勉		

4 視察先概要

①福島県会津若松市

人口 113,007 人 (R5.4.1) 面積 382.99 km²

会津若松市議会: 28 名 議会運営委員会: 7 名

5 つの常任委員会:

総務 7 名、文教厚生 7 名、産業経済 7 名、建設 7 名、予算決算 27 名

②ご対応いただいた方 会津若松市議会

議会評価特別委員会委員長	高梨 ひろし	様
広報広聴委員会	笹内 直幸	様
議会事務局	中村 治郎	様
	向井 一輝	様

5 会津若松市議会の取組

会津若松市議会は平成 20 年 6 月に議会基本条例を施行し、市民との意見交換会、政策討論会、政策サイクルの制度設計の構築など、さまざまな議会改革に取り組んでいる。早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革度調査 2022 総合ランキングでは全国 30 位で、毎年上位にランクインしている議会である。

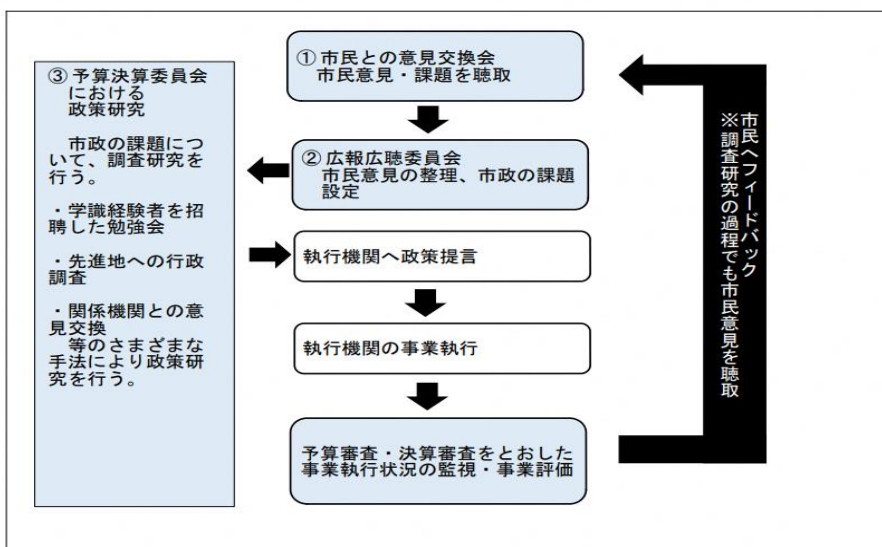
特に注目すべき点として、会津若松市議会では市民参加型の政策サイクルを確立し、実践に取り組んでいる。市民との意見交換会の意見の中から市政の問題点や課題を発見し、解決に向けた分析・調査研究を行うとともに、政策立案、政策提言につなげている。

また、政策サイクルと予算審査・決算審査を連動させることにより、政策や施策を継続して調査研究することで地域の課題解決に取り組んでいる。

① 会津若松市議会の政策サイクル

(視察資料 会津若松市議会の議会改革)

図表 2 会津若松市議会の政策サイクル



政策サイクルをまわすため以下の主要な 3 つのツール

- ①政策サイクルの起点となるのは、市民との意見交換
- ②その意見を整理し、問題発見、課題設定に至る広報広聴委員会
- ③予算決算委員会における問題を分析し政策研究、政策立案

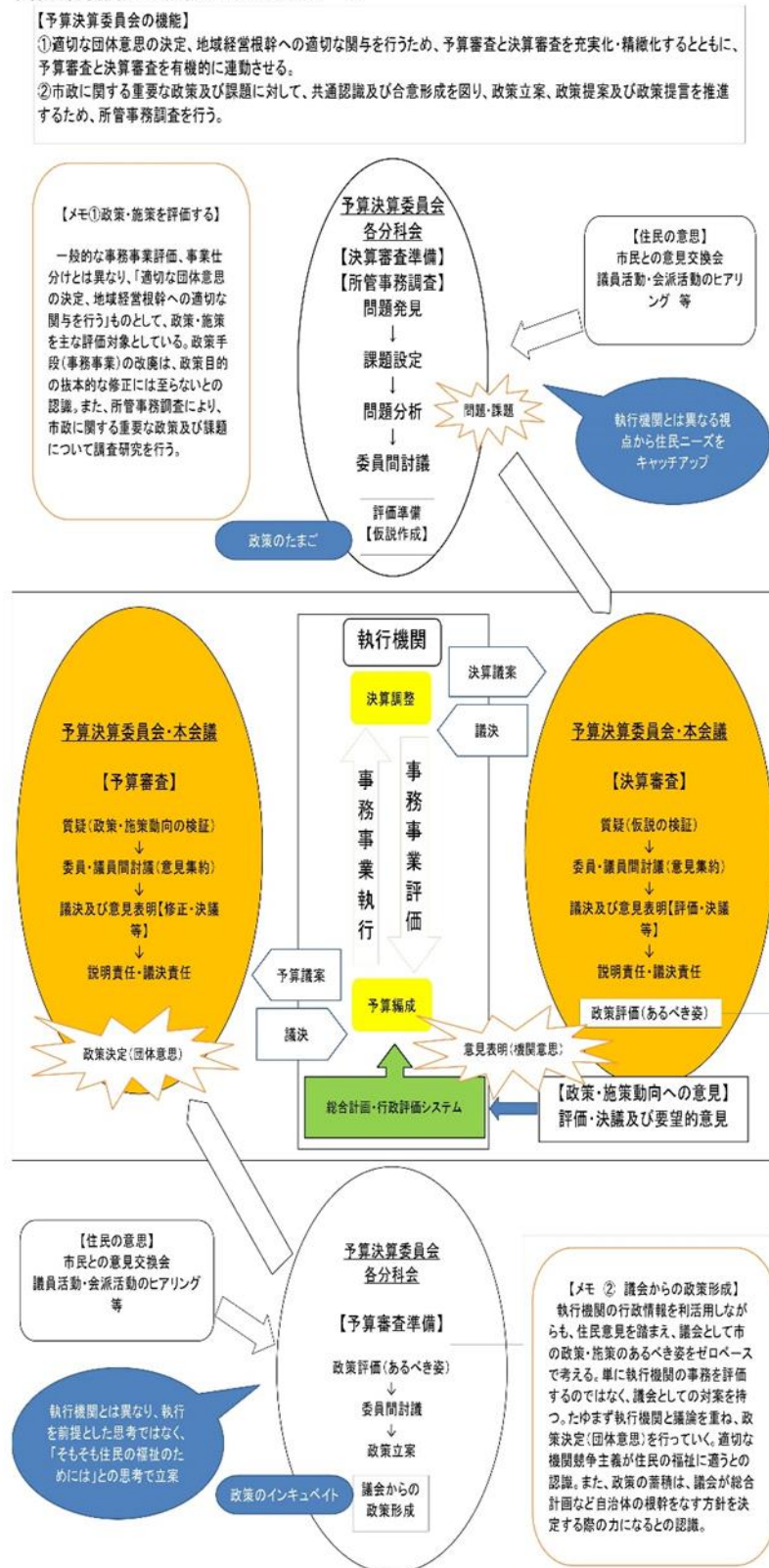
この 3 つのツールを活かし政策サイクルを回すことで、市民福祉の向上に取り組んでいる。

② 政策サイクルと予算、決算の連動

予算決算委員会の政策サイクルのイメージ

(視察資料 会津若松市議会の議会改革)

図表 14 予算決算委員会の政策サイクルのイメージ



予算決算委員会では常任委員会単位の4つの分科会を設置し、9月の決算審査の議論や意見交換会からの市民の意見をベースに、政策サイクルと予算審査・決算審査を連動させている。

予算、決算審査の進め方は、予算決算委員会が開催される1～2か月前に予算決算委員会分科会において、各委員が論点を持ち寄り、分科会で取り上げる論点などについて協議している。各委員は委員会討議により問題点の共通認識を持つことができるため、審査は抽出した論点を中心に執行部に質疑を行っている。必要であれば、分科会として修正案や要望的意見を取りまとめ、本会議において意見表明（決議等）を行い執行部へ課題解決を促す方法を取っている。

6 所感

本市議会においても市民との意見交換会は実施している。しかしながら、その意見は提言・要望書としてまとめることにとどまり、議会として政策につなげる仕組みづくりができていない。

会津若松市議会では意見交換会での意見を精査し、何が課題なのか、十分に議論を尽くし、議員間討議や予算審査・決算審査を活用し、政策サイクルをまわしていた。また、予算決算委員会分科会の所管事務調査では、2年目で中間総括、4年目で最終報告を行い、4年間をかけて政策提言をする仕組みが構築されていた。提言に至らなかったものも、次期への申し送り事項として引き継がれており、任期を超えて課題解決する仕組みができていた。

市民の意見を政策に反映するためには、市議会として継続して取り組んでいくことが必要であり、会津若松市議会の取組は参考とすべき点が多く、本市議会においてもこれらの仕組みを十分に検討し、市政の課題に対処してまいりたい。

そして、一層の議会改革、議会の活性化に取り組んでいく必要を強く感じた視察研修でした。



